

## 会計事務所・企業など対象の「会計事務所白書 2024」 「生成 AI」に関する実態調査

～「生成 AI」に興味があるがどのようにしたら使えるのかわからない会計事務所、  
企業・事業主が約半数、整備や導入の困り事は自分で調べる人が6割以上～

財務・会計システムおよび経営情報サービスを開発・販売する株式会社ミロク情報サービス（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：是枝 周樹、以下「MJS」）は、全国の会計事務所および企業・事業主など 842 名を対象に、「生成 AI」への関心や利用意向の実情や考え方などを調査し、その結果を「会計事務所白書 2024」(<https://www.accnt.jp/report/2024/>)として税理士・公認会計士事務所探しをサポートする検索サイト「会計事務所検索エンジン」(<https://www.accnt.jp/>)に公開しました。

近年、「生成 AI」の普及が急速に進み、多くの場面で見聞きされるようになりました。会計事務所や企業のバックオフィスにおいても「生成 AI」の活用で、業務の効率化が進むことが期待されており、今後、日常的に利用されるツールとなっていくことが考えられます。また、「生成 AI」を活用した効率化を推進するためには、「生成 AI」の動向や利活用の事例などの新たな情報を得ていくことも重要です。そこで、「会計事務所白書 2024」では、会計関連のサービスを提供する側である会計事務所と、会計関連のサービスを用いて会計処理を行う側である企業・事業主それぞれにおいて「生成 AI」に対するイメージや導入、活用の状況などを明らかにする「生成 AI に関する実態調査」を実施しました。ここに調査結果の要旨をご報告いたします。



### ■調査概要

調査名	： 会計事務所白書 2024 「生成 AI」に関する実態調査 (会計事務所編/企業・事業主編)
調査主	： 株式会社ミロク情報サービス
調査対象	： 合計 842 名 —会計事務所(職員含む) 206 名 —企業のバックオフィスまたは IT 担当者、事業主 636 名
調査期間	： 2024 年 3 月 8 日(金)～2024 年 3 月 18 日(月)
調査エリア	： 全国
調査方法	： インターネット調査

■ 調査結果(要旨)

- ・会計事務所の 93%、企業・事業主の 97%が ChatGPT を含む「生成 AI」を認識
- ・「生成 AI」を使ったことが「ある」会計事務所は 37%、企業・事業主は「生成 AI」を使ったことが「ある」と「ない」が約半数に分かれる
- ・会計事務所、企業・事業主ともに、「生成 AI」に興味があるがどのようにしたら使えるのかわからない、とする回答が約半数
- ・「生成 AI」の使用経験のない、会計事務所では情報処理効率化への期待が高い傾向があり、企業・事業主では事務作業の負担軽減が求められている
- ・「生成 AI」の整備や導入に関して困った時には、会計事務所、企業・事業主ともに自分で調べるケースが 60%以上で最多

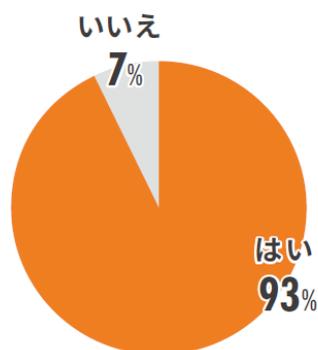
■ 調査詳細 (一部)

— 「生成 AI」という言葉の認識 —

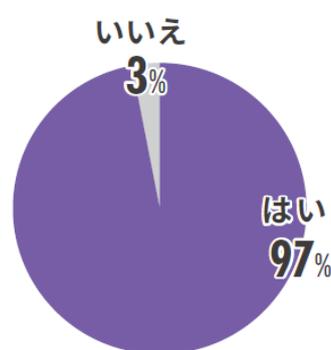
- ・会計事務所では、「はい」が 93%、「いいえ」が 7%
- ・企業・事業主では、「はい」が 97%、「いいえ」が 3%
- ➡会計事務所、企業・事業主ともに ChatGPT などのツールが広く認識されており、AI 技術への関心は高い

Q ChatGPT をはじめとした「生成 AI」という言葉を知っていますか？

< 会計事務所編 >



< 企業・事業主編 >

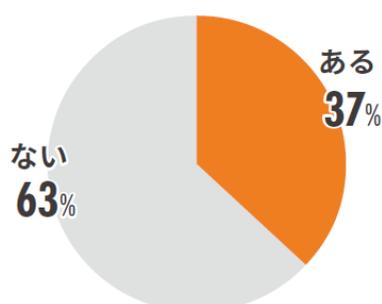


— 「生成 AI」の利用状況 —

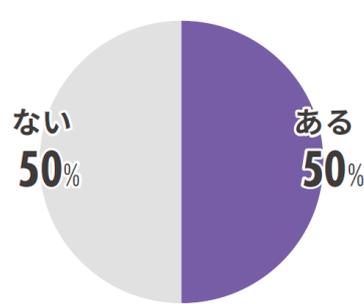
- ・会計事務所では、「ある」が 37%、「ない」が 63%
- ・企業・事業主では、使ったことが「ある」と「ない」が約半数ずつ
- ➡既に「生成 AI」活用している会計事務所、企業・事業主が一定数存在する一方、企業・事業主に比べ、会計事務所のほうが使用に様子を見ている割合は高い

Q 「生成 AI」を使ったことはありますか？

< 会計事務所編 >



< 企業・事業主編 >

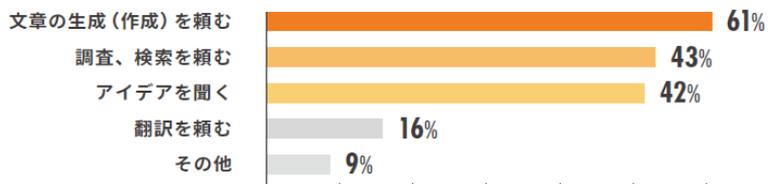


—（「生成 AI」活用者について）「生成 AI」の用途—

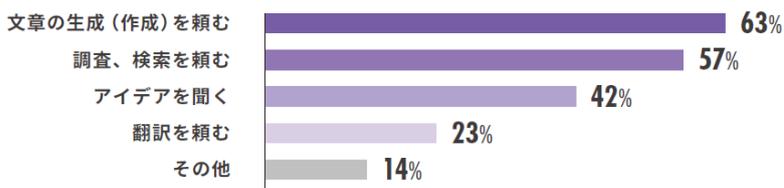
- ・会計事務所では、「文書の生成（作成）を頼む」が 61%、「調査、検索を頼む」が 43%、「アイデアを聞く」が 42%、その他「プログラムコードの作成・生成、デバッグ」「画像生成、画像処理」などに利用
  - ・企業・事業主では、「文書の生成（作成）を頼む」が 63%、「調査、検索を頼む」が 57%、「アイデアを聞く」が 42%、その他「Excel の式作成のアシスト」「文章の校正」などに利用
- ➡会計事務所、企業・事業主ともに文書の生成（作成）を目的とした利用が最多

Q（「生成 AI」を使ったことが「ある」と答えられた方について）  
 どのような「生成 AI」を使われましたか？ ※複数選択可

<会計事務所編>



<企業・事業主編>

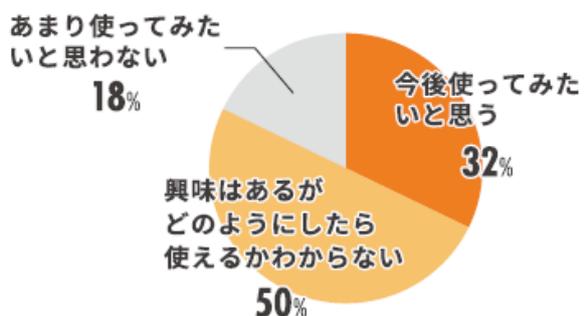


—（「生成 AI」未活用者について）今後の「生成 AI」活用の意向—

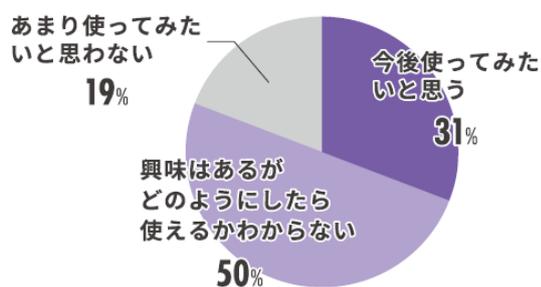
- ・会計事務所では、「今後使ってみたいと思う」が 32%、「興味があるがどのようにしたら使えるかがわからない」が 50%
  - ・企業・事業主では、「今後使ってみたいと思う」が 31%、「興味があるがどのようにしたら使えるかがわからない」が 50%
- ➡会計事務所、企業・事業主ともに多くが利用に前向きであるものの、どのようにしたら使えるのかがわからない割合が高い状況

Q（「生成 AI」を使ったことが「ない」と答えられた方について）  
 今後「生成 AI」を使ってみたいと思いますか？

<会計事務所編>



<企業・事業主編>



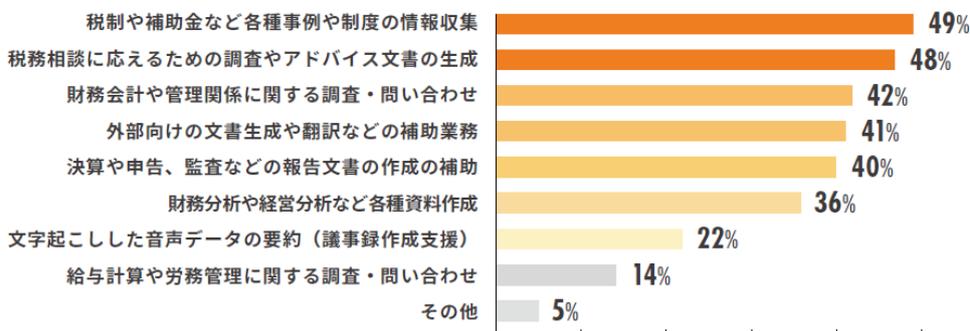
— 「生成 AI」 の使用目的 —

- ・会計事務所では、「税制や補助金など各種事例や制度の情報収集」が 49%、「税務相談に答えるための調査やアドバイス文書の生成」が 48%、その他「業務改善案などの打ち出し」など
- ・企業・事業主では、「業務に関する情報収集」「報告文書の作成の補助」が 62%、その他「プログラミングの補助」「経営分析」など
- ➡会計事務所では情報処理効率化への期待が高い傾向があり、企業・事業主では事務作業の負担軽減が求められている

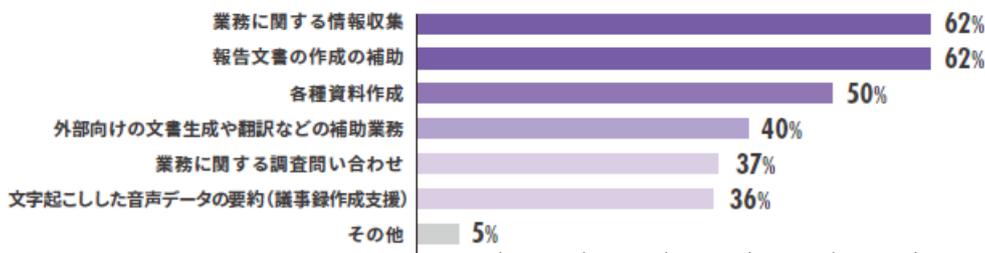
Q 「生成 AI」 を使用するとしたらどのようなことに使ってみたいですか？

※複数選択可

< 会計事務所編 >



< 企業・事業主編 >

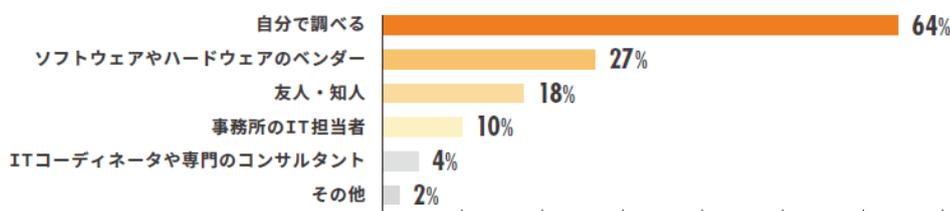


— 「生成 AI」 の整備や導入に関しての相談先 —

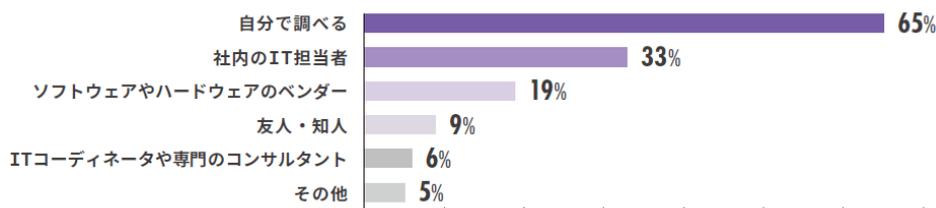
- ・会計事務所では、「自分で調べる」が 64%、「ソフトウェアやハードウェアのベンダー」が 27%、その他意見として「税理士仲間」など
- ・企業・事業主では、「自分で調べる」が 65%、「社内の IT 担当者」が 33%、「ソフトウェアやハードウェアのベンダー」が 19%、その他意見として「有識者や既に利用している知人」「相談するところが無い」など
- ➡会計事務所、企業・事業主ともに「自分で調べる」が 60%以上と最多

Q 「生成 AI」 の整備や導入に関して困ったときどこ（誰）に相談することが多いですか？ ※複数回答可

< 会計事務所編 >



### <企業・事業主編>



### —調査結果から—

本調査の実施結果から、会計事務所、企業・事業主ともに「生成 AI」への関心は高く利用に前向きであるものの、実際に「生成 AI」を活用している会計事務所は 37%、企業・事業主は約半数にとどまる結果となりました。

「生成 AI」に興味はあるがどのようにしたら使えるのかがわからないという回答の割合が高く、また「生成 AI」の整備や導入に関して、大多数が「自分で調べる」を選択していることから、導入をスムーズに進め、運用面の課題を解決していくためには、導入に向けた具体的な対策や技術的な支援、課題解決策の提示など、状況に合わせたサポートを得ることが「生成 AI」活用にあたって重要であることが考えられます。

MJS では、お客さまが生成 AI をはじめとする技術革新や新しい可能性への挑戦を経て、その効果を最大限に引き出せるように、専門的なサポート体制を整えております。

#### ■ 会計事務所検索エンジン (<https://www.accnt.jp/>)

全国の会計事務所と企業をつなぐ、ビジネスマッチングサイト。全国の会計事務所から、企業の要望にピッタリの会計事務所を無料で見つけられるサイトです。基本情報の他に、事務所の得意分野や業種、対応ソフト等についても掲載されていますので、相談内容・目的にあった事務所が見つかります。また、選択した会計事務所のホームページにリンクされていますので、詳細を知ることができ、直接会計事務所にお問い合わせすることも可能です。

#### ■ 株式会社ミロク情報サービス(MJS)について (<https://www.mjs.co.jp/>)

全国の会計事務所と中堅・中小企業に対し、経営システムおよび経営ノウハウならびに経営情報サービスを提供しています。現在、約8,400の会計事務所ユーザーを有し、財務会計・税務を中心とした各種システムおよび経営・会計・税務等に関する多彩な情報サービスを提供しています。また、中堅・中小企業に対して、財務を中心としたERPシステムおよび各種ソリューションサービスを提供し、企業の経営改革、業務改善を支援しており、現在、約10万社の中堅・中小企業ユーザーを有しています。

#### 【本リリースに関するお問い合わせ先】

株式会社ミロク情報サービス  
 社長室 経営企画部 広報・IR グループ 宮城・安藤  
 Tel : 03-5361-6309  
 Fax : 03-5360-3430  
 E-mail : [press@mjs.co.jp](mailto:press@mjs.co.jp)